

月報 2025年2月28日 NO408

2月号



石城山岳会事務局編集

2025年登山教室「裏磐梯イエローフォールスノートレッキング」

2025年 登山教室

「裏磐梯イエローフォールスノートレッキング」

2025年2月16日(日)

○参加者

1班 佐藤（敦）、鈴木、須藤、松崎

2班 志賀、種市、蛭田、山中、岩崎

3班 長谷川、芳賀、藁谷、佐藤（秀）、西

4班 遠藤、佐藤（幸）、根本、比佐、中根

会津で観測史上最大の積雪となったほどの大寒波の直後で、北塩原村でも災害救助法が適用されて雪祭りが中止となった中、寒が緩んだタイミングでの教室開催となりました。翌週も大寒波の予報ですので本当に本当に運が良い！

猪苗代から先は深い雪の世界。殆どのメンバーは裏磐梯登山口駐車場からスノーシューを履いて登りました。前日の好天でイエローフォールに行った人が多かったのか、グレンデから先はしっかりとトレースが付いていてとても歩きやすく、全行程をツボ足で歩く猛者がいたほど雪の表面が締まっていました♪ 個人的には、新雪と深雪でラッセル三昧だった今シーズンの雪の中で一番の歩きやすさでした。今年の裏磐梯なのにホワイトアウトも吹雪も無く…何方か強運の持ち主がいらっしゃったのでしょうか？(笑)

大雪のおかげで銅沼は中央を楽に通れる状況で、各々が足跡の無い場所を選んで歩いて雪を楽しみました。裏磐梯の沼上ハイクは沼に雪が(氷ではなく)溜まって厚く固くなったところを歩くものなので、今年は好条件です。反面、イエローフォールは雪が多すぎて小ぶりでしたが、黄色に凍った滝は見事です♪途中軽く雪が降る場面もありましたが、風も殆どなく、ラッセルもなく、スケジュールよりも早く進むことができました。時間にも天候にも余裕があったため、帰路は夏道を通して樹林帯を歩きました。

登山道の風景や道も、積雪期にはだいぶ印象が変わります。動物の足跡を探したり、雪の小山に顔を描いたり、雪だるまを作ったり、雪遊び楽しい♪ ダケカンバの樹皮は油が多いので焚き付けに向くなど、先輩方にいろいろなことを教えて頂きました。

夏道の登山道の雪は固まっているのは表面と踏跡のみで、踏跡のない斜面を踏み抜くと中はサラサラ。下りは楽しいのですが、登りはズルズルと滑って難儀しました。フラットフットイング〜っ!!

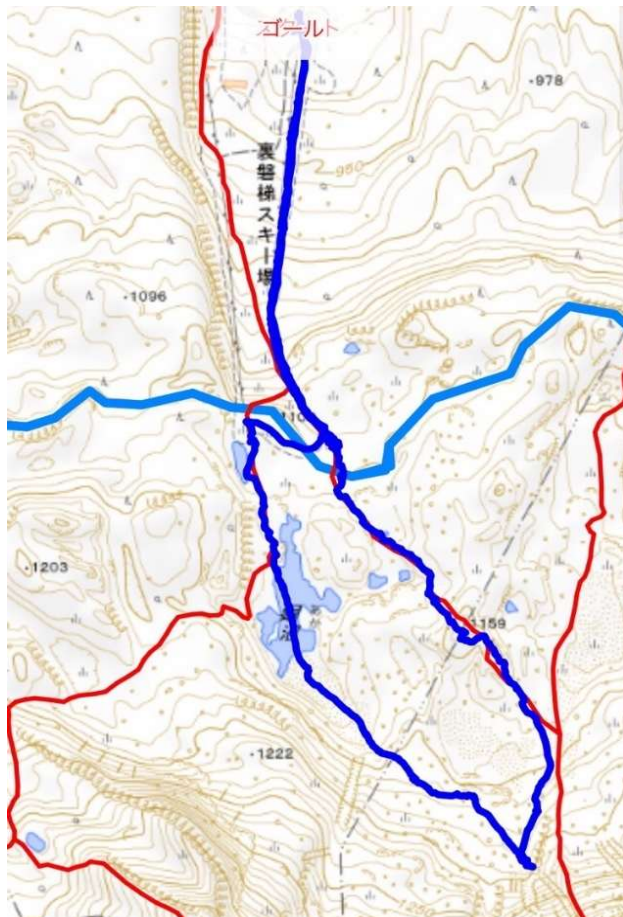
噴火口分岐近くの樹林帯の中で昼食を取り、ビバーク準備の実習と雪崩体験を行いました。割り箸を雪に埋めてツェルトを張るなど、厳冬期ならではの体験ができました。雪崩体験では、ツェルトを身体に巻いて上から雪をかけて貰って重い雪を体験。雪崩のテグリの中での自力での脱出はまず不可能なことを学びました。雪崩対策のビーコンも操作して頂き、様々な体験ができました。

昼食後は晴れてきて、スキー場からは美しい青空と檜原湖が見れました。スキーで参加のメンバー



が気持ちよく滑り降りて行くのが羨しかったです。

今回は幹事の方が悪天候を想定して様々な準備をしてくださったおかげで、余裕のある楽しい山行となりました♪ 実はイエローフォールは10回以上来ているのですが、リフトを使わないのは初めてで自信ができました。冬装備をたくさん持ってきて実地で教えて下さった先輩方に感謝です！ありがとうございました！



(6:00 水石トンネル駐車場)

(7:10 道の駅猪苗代)

【コースタイム】

8:15 裏磐梯登山口駐車場

(→9:05 噴火口分岐)

→9:25 銅沼

→10:15 イエローフォール

(→10:40 火口原分岐)

→11:20 昼食、ピバーク準備実習

(噴火口分岐近く)

(→12:30 噴火口分岐)

→13:00 磐梯登山口駐車場

(文責：遠藤)